

---

Have a sweet dream

桜木和ん子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Have a sweet dream

### 【Nコード】

N9291G

### 【作者名】

桜木和ん子

### 【あらすじ】

ロク刹で、刹那不眠症のおはなし。ロックオンが保護者な立場。まだ、恋人同士ではないです。

オフの日、遅めの昼飯を食い終わって、部屋に戻ろうとしたら、刹那とすれ違った。

「刹那」

「なんだ、ロックオン」

「お前も、今日オフだよな？」

「……そうだが」

「いますぐ、俺の部屋に来なさい」

「……は？俺はこれから整備が……」

「いいから」

俺は、刹那の腕をがっちりと掴んで、有無をいわさず歩き始める。

2

「俺に触れるな！」

暴れ出す刹那を、力で押さえ付けて、なんとか自室のロックを解除。

ぐいぐい引っ張って、刹那を無理矢理連込むと、そのまま、なだれ込むようにしてベッドに押し倒した。

「なにをする！離せ！」

「嫌だね」

「ロックオン！」

「寝れなくなったら、俺のところに来いって言っただろ？」

「だから、お前には関係ない！」

腕の中の子どもは、まるで猫のようにもがき、ちくしょう、引っ掻き傷を沢山つけてくれやがった。

「せつな、」

「っ！」

それでも、めげずにとびきり優しい声で名前を呼んでやる。根気強く、甘やかしてやらなければ。

「なにかあつたらちゃんと起こすし、刹那が起きるまで、俺ちゃん  
とここにいるから、だから、寝なさい」

「……………」

ようやく大人しくなった刹那をぐっと抱きよせ、額に唇を押し当てた。

「おやすみ、刹那」

「……………」

「なに？」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9291g/>

---

Have a sweet dream

2011年1月16日08時47分発行